

在宅療養支援診療所 HAPPINESS 館クリニック

平成21年4月より、「丸木記念福祉メディカルセンター 在宅医療室」を薫風園1階に開設して以来、社会福祉法人埼玉医療福祉会は在宅医療に積極的に取り組んでまいりました。その機能が、くらしワンストップ MORO HAPPINESS 館内の在宅療養支援診療所「HAPPINESS 館クリニック」に移管することになりました。当院は、在宅療養されている患者さんの依頼により、当館内の埼玉医科大学訪問看護ステーションをはじめ、地域の他の訪問看護ステーション等との連携を図り、24時間往診及び訪問看護等を提供できる体制をとっております。

訪問エリア

毛呂山町、越生町、鳩山町、坂戸市・鶴ヶ島市・日高市・飯能市・ときがわ町の一部、その他応相談。

訪問範囲は、規定により当院所在地より半径16km圏内となっております。

電話：049-276-1852 在宅医療スタッフとご用命ください。

訪問診療にて治療・管理できる項目

IVH 管理・点滴管理	心電図検査
胃ろう・経鼻胃管管理（交換可）	在宅酸素療法（HOT）
エコーガイド下胸腔・腹腔穿刺	在宅人工呼吸器管理
気管切開後の管理・吸引処置	尿道留置カテーテル管理
疼痛管理（麻薬処方）	膀胱ろう・腎ろう管理
糖尿病管理（インスリン管理含）	ストーマ（人工肛門）管理
褥創管理	PCAポンプによる持続皮下注
単純レントゲン撮影	在宅輸血（濃厚赤血球・血小板）

その他いろいろできますが、「できることとすべきこと」をよく吟味して医療を行ってまいります。

在宅療養支援診療所 HAPPINESS 館クリニック 診療理念

1%の科学と、99%の想いやり

社会福祉法人埼玉医療福祉会 ならびに 埼玉医科大学の基本理念である
「限りなき愛」を実践すべく、

- 1) 住み慣れた環境で最期までご自分らしくお過ごし頂くために、多職種と積極的に連携して、在宅療養を支援いたします。
- 2) 入院で当たり前のように行われている医療をしっかり吟味し、本当に必要な医療を患者さんや周りの皆さんと一緒に考えます。
- 3) 患者さんを自分の家族と同様に考え、ご本人のみならず周りの皆さんも安心できる在宅医療をご提供できるよう努力いたします。

以上を心がけて、診療にあたってまいります。

医師のご紹介

在宅療養支援診療所 HAPPINESS 館クリニック 管理者

齋木 実 (さいきみのる)



略歴

埼玉県入間市出身、在住。日本大学医学部卒業。日本大学医学部附属板橋病院血液膠原内科(旧第一内科)を経て、英国ロンドンの日系クリニックに勤務し、全科対応の家庭医として約5年在英。

2011年～医療法人社団満寿会 鶴ヶ島在宅医療診療所 副院長

2016年4月～埼玉医科大学国際医療センター 総合診療・地域医療科 准教授

2020年4月～埼玉医科大学国際医療センター 総合診療内科(地域医療科) 教授

(兼) 社会福祉法人 埼玉医療福祉会 丸木記念福祉メディカルセンター 病院長補佐。

(兼) 在宅療養支援診療所 HAPPINESS 館クリニック管理者

資格等

医学博士

日本内科学会認定総合内科専門医・指導医

日本血液学会認定血液専門医

埼玉医科大学保健医療学部非常勤講師

城西大学薬学部非常勤講師

身体障害者福祉法第15条指定医師(肢体不自由)

「かかりつけ医認知症対応力向上研修」修了

「がん診察に携わる医師に対する緩和ケア研修会」修了

「緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会」修了

所属学会等

日本内科学会

日本血液学会

日本緩和医療学会

日本プライマリケア連合学会

日本在宅医療連合学会

日本在宅ホスピス協会

在宅医療にかける想い

在宅医療の現場に入ったことは、これまでの医師としての経験のみならず、今まで経験してきた人生すべてがその伏線であったかのように思われてなりません。

私が小学生の頃、大好きな祖母の大腸癌を見つけて専門医へ紹介してくれた「町のお医者さん」がいました。

その先生に憧れ、医師を志すようになったと記憶しています。病院の専門医の執刀で、祖母は一命を取りとめました。結局、私が医学生の際に再発し、病院で最期を迎えました。

その時の病院の医師の態度や「病院の枠」に括られてしまう医療に、何かもどかしさを感じたものです。

医者になって病院や診療所(の建物の中)で医療を行っていた頃は、そのつもりはなくても、やはり自分も疾患や病院の枠で患者さんを括っていたような気がします。

在宅医療に携わり、患者さんの住み慣れた環境へ出向くことにより、患者さんの「生活」や「人生」が垣間見られるようになりました。

これは、電子カルテでは得られない貴重な情報であり、1冊の本よりも感動的な物語です。

確かに、これまで「在宅」で関わらせていただいた患者さんお一人おひとり、一つとして同じ症例はありません。そして、特に終末期在宅に必要な医療は僅かであり、大切なのは周囲の「ささえる心」が最も大切であると実感しています。

これほどご家族や地域、多職種の皆さんとの関わり大切さ、難しさ、そして楽しさを実感できたことは、医者を何年もやってきて初めてのことです。

いま私がやっていることは、これまでの罪滅ぼしとも言えます。

しかし、これが私のやりたかった「町のお医者さん」だったんだと、やっと天職に出会えた心持ちであります。

もちろん、一人でできることには限りがあります。大学病院の先生方、地域の先生方、多職種の皆さんと顔の見える関係で連携しながら、患者さん主体の在宅生活に想いを馳せて「寄り添い、ささえる医療」の輪を広げていきたいと考えています。

【同志の在宅医募集！】

当院では、グループ内外を問わず、同じ気持ちを持った在宅医を募集しています。5年以上の臨床経験があり、在宅医療・在宅緩和ケアに興味のある先生、一緒に私達と地域で働きますか？学会活動や、将来の開業を見据えた活動も、できる限りバックアップいたします。ご連絡をお待ちしています！

連絡先：049-276-1852（在宅療養支援診療所オフィス直通）

msaiki☆saitama-mwa.or.jp（☆を@に換えてください）